

後藤文夫 （ごとうぶんぶ） 政治家。明治十七年二月七日大分縣生れ、昭和五十五年五月十三日歿（八八四一八〇）。明治四十一年東京帝國大學法科大學政治學科卒。内務省入省、警保局長、臺灣總督府總務長官等歴任。また青年團運動に従ひ、大日本聯合青年團及び日本青年館の各理事長を務めた。その後農相、内相、國務相となり、この間選挙禁止運動に盡力、國維會創立に關與。戦後は昭和二十八年參議院議員。



著書に『大原幽學と語る』（昭和十六年九月十日日本文化中央聯盟

「國民自覺叢書」）がある。